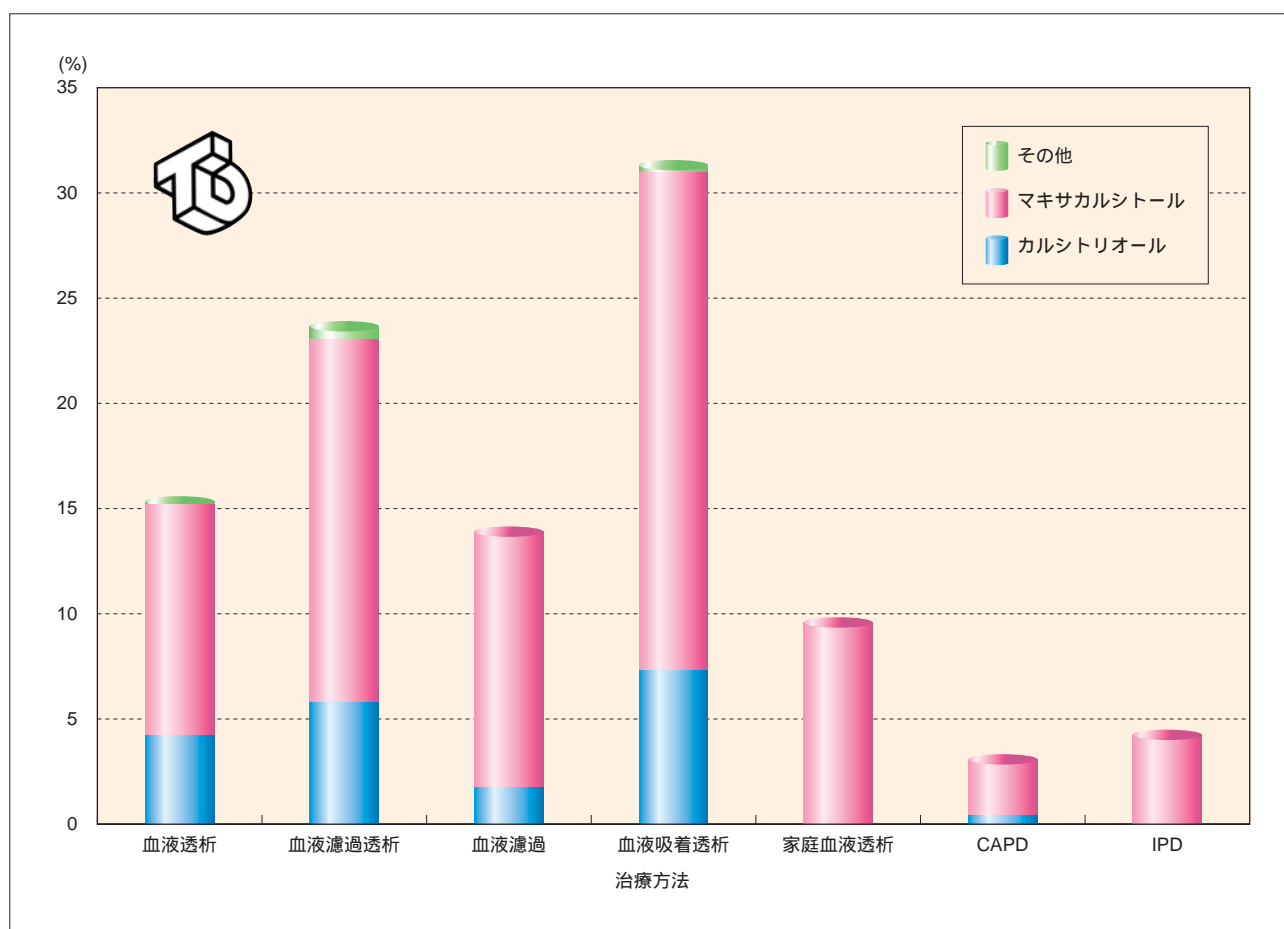


2) ビタミンD製剤の使用状況

(2) 治療方法別 静注ビタミンD製剤の使用頻度 (図表30)



治療方法	カルシトリオール	マキサカルシトール	その他	使用していない	不明
血液透析	6,822	18,359	232	138,605	748
(%)	(4.1)	(11.1)	(0.1)	(84.1)	(0.5)
血液濾過透析	671	2,030	53	8,860	36
(%)	(5.8)	(17.4)	(0.5)	(76.1)	(0.3)
血液濾過	1	7		50	
(%)	(1.7)	(12.1)		(86.2)	
血液吸着透析	27	86	1	248	1
(%)	(7.4)	(23.7)	(0.3)	(68.3)	(0.3)
家庭血液透析		9		86	
(%)		(9.5)		(90.5)	
CAPD	19	123		4,309	89
(%)	(0.4)	(2.7)		(94.9)	(2.0)
IPD		6		139	1
(%)		(4.1)		(95.2)	(0.7)

解説

治療方法別の静注ビタミンD製剤使用頻度について検討しました。血液透析では約15%に静注ビタミンD製剤が使用されており、マキサカルシトールが大半を占めていました。

CAPDにおける使用頻度は約3%と低く、今後CAPDに対する静注ビタミンD製剤の有用な使用方法、適応についても検討される必要があると思われます。